

# 回復期リハビリテーション病棟 入院料にかかる掲示事項

## A館5階病棟

	10月	11月	12月
直近3ヶ月間の退棟患者数 ※実施指標の計算対象外患者を含む	24名	34名	21名

## 退棟患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳

	10月	11月	12月
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装具訓練を要する状態	6名	8名	5名
高次脳機能障害の患者	0名	0名	0名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	7名	10名	5名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	2名	6名	2名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	0名	0名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	1名	1名	0名
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名	0名
上記に準ずるもの	0名	0名	0名

算出期間：令和7年10月～令和7年12月（3ヶ月実績）

## 直近のリハビリテーション実績指標（6ヶ月実績）

前月までの6ヶ月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	160名
上記のうち、実績指標の計算対象とした患者数	121名
上記の患者の退棟時のFIM得点（運動項目）から入棟時のFIM得点（運動項目）を控除したものの総和①	3095点
上記の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和②	57.8
実績指標（①/②） 基準値：40	53.6
直近に報告した実績指標	77.6

算出期間：令和7年7月～令和7年12月（6ヶ月実績）

# 回復期リハビリテーション病棟 入院料にかかる掲示事項

## A館3階病棟

	10月	11月	12月
直近3ヶ月間の退棟患者数 ※実施指標の計算対象外患者を含む	34名	31名	36名

## 退棟患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳

	10月	11月	12月
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装具訓練を要する状態	7名	8名	9名
高次脳機能障害の患者	1名	0名	1名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	12名	8名	11名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	2名	1名	3名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	2名	1名	2名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	1名	0名	2名
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名	0名
上記に準ずるもの	0名	0名	0名

算出期間：令和7年10月～令和7年12月（3ヶ月実績）

## 直近のリハビリテーション実績指標（6ヶ月実績）

前月までの6ヶ月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	194名
上記のうち、実績指標の計算対象とした患者数	145名
上記の患者の退棟時のFIM得点（運動項目）から入棟時のFIM得点（運動項目）を控除したものの総和①	3745点
上記の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和②	63.5
実績指標（①/②） 基準値：40	59.0
直近に報告した実績指標	43.1

算出期間：令和7年7月～令和7年12月（6ヶ月実績）